

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
千曲市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に開催されます。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与することを目的として開催されます。

本県においては、昭和53年（1978年）に第33回国民体育大会（やまびこ国体）同年には第14回全国身体障害者スポーツ大会が開催され、本市ではハンドボール競技を開催し、その成功はその後の本市のスポーツの普及・振興や市政発展の礎となりました。

2024パリオリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、スポーツに対する機運が高まる中、前回大会から50年目となる令和10年（2028年）に、国内最大規模のスポーツの祭典である「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会」が本県で開催されることが内定しており、本市において多くの競技が開催されることは、市民のスポーツへの関心を高め、誰もがスポーツに親しめる環境づくりの推進とスポーツを通じた交流人口拡大による地域活性化に大きく寄与するものと期待されます。

また、各都道府県の選手団や大会関係者など本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えし、日本遺産に認定された月の都に代表される美しい自然、開湯120年を超える戸倉上山田温泉、重要伝統的建造物群保存地区である旧街道蔵のまちなど多種多様な歴史、文化、自然の地域資源を感じていただくことで、文化伝承創造都市・千曲を全国に向けて発信することによる観光や経済活動への波及効果も期待できるなど、第三次千曲市総合計画の目指す「スポーツを通じ、心身の健康と活力あるまち」の実現に向け大変意義深いものもあります。

このような意義のある大会を成功させるために、市民、関係機関、関係団体並びに行政からなる「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会千曲市準備委員会」を設立し、千曲市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものです。

令和6年10月7日